

宣言

情勢は世界をあげて急迫して来た。ヒットラードイツを中心とし、武装衝突の材料として、世界の平和的均衡は正に破れんとしてゐる。資本主義の前途は眼前の燈火よりも尚危殆である。

此の形勢は日本の革新を假託する多くの理論と運動を生んだ。非科学的な言辭は時を得難に横行し、物欲しげな無向者の行列は至る所に交攻してゐる。全てが百倍の失ひ、混沌、迷途、無爲の向を彷徨してゐる。

然し丁史の父然はあらゆる迷途を貫通して進む。新しい世界の展望は今こそ明け階級の前に開けつゝあるのだ。労働階級の健康なる組織を基礎とせずして、日本の革新を説くもそれは一片の虚辭に過ぎぬ。フアンシグムは補償資本主義の走向となり終焉。見よ、フアンシグムを先とせよ。資本主義の必死の存続を

かゝる情勢の中に開かれた全国労働組合同盟才四回大会は労働組織の拡大進化に依る主体的條件の確立を当面の主要任務と考へる。

組織は更に具体的に、計画的に未組織の分野に開拓せられねばならぬ。公式的理論は具體的運作的な戦略に置き代へられねばならぬ。フアンシグムと戦ひ交動を遂げ階級理論をより高揚せねばならぬ。勇伸性ある戦術の適用に依つて交際する運動をより大衆化せねばならぬ。戦線統一に拍車をかけ進力を組合を統一構立せねばならぬ。

形勢は急迫を告げつゝある。この容観を勢を指導し得るものは、かゝつて労働階級の今後の実践にある。我々は非常闘争を通じて、労働運動に依る主体的條件の確立こそが、資本主義打倒の根幹たることを明不せんとす。

右宣言す。
昭和八年十月十日

全国労働組合同盟才四回大会